

平成29年度事業報告

新潟県から受託した発掘調査を実施し、埋蔵文化財の調査研究を行うとともに、埋蔵文化財に親しむ機会の提供・普及啓発を図り、文化振興への寄与を目的に以下の事業を推進した。

1 事業及び推進体制

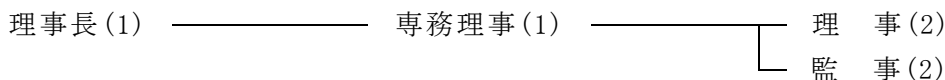
(1) 事業

- ア 埋蔵文化財の調査及び研究
- イ 埋蔵文化財保護思想の普及
- ウ 埋蔵文化財調査技術の指導及び研修
- エ 出土遺物の保存処理
- オ 埋蔵文化財に関する資料の収集、保存及び刊行

(2) 組織 (平成30年3月31日現在)

ア 評議員会(4)

イ 理事会



ウ 事務局 (職員数33 内訳：正職員1、県派遣職員12、嘱託員20)

事務局長 --- 総務課長 --- 班長(1)、嘱託員(3)

【本発掘調査・整理】

調査課長 --- 課長代理(2) --- 専門調査員(2)、班長(2)、
嘱託員(8)

【普及・資料・保存】

普及・資料課長 --- 課長代理(2) --- 嘱託員(9)

エ 事務所

本部 新潟市秋葉区金津93番地1

新潟県埋蔵文化財センター

2 発掘調査受託事業

国土交通省建設事業、県営湛水防除事業に関わる発掘調査及び整理・報告作業を実施した。

(1) 本発掘調査 [資料1]

当初予定は6遺跡25,660㎡であったが、調査の実態に合わせた対象面積の変更により、最終的には6遺跡25,595㎡を発掘調査した。

- (2) 整理・報告作業
- ア 整理作業を実施した遺跡 12遺跡
(H29年度調査分：6遺跡、H28年度以前調査分：6遺跡)
 - イ 調査報告書を刊行した遺跡 8遺跡：8冊（報告書刊行のみ2遺跡）[資料2]

3 保存処理 [資料3]

- (1) 木器保存処理
- ア 保存処理前の洗浄、脱鉄処理、写真等による記録化 10遺跡(1,108点)
 - イ 糖アルコール（トレハロース）含浸 21遺跡(1,452点)
 - ウ 表面処理 8遺跡(3,355点)
- (2) 金属器保存処理
- ア 保存処理前の洗浄、台帳化、脱酸素密封保管 4遺跡(155点)
 - イ 脱塩・脱硫処理、樹脂含浸による保存処理 12遺跡(242点)

4 資料整理・管理

発掘調査による出土品及び記録類を保管するとともに、考古学・歴史学などの学習・研究資料として活用した。

- (1) 保管
- ア 出土品・記録資料の保管
出土品360箱、記録資料31箱を収蔵庫及び資料保管室に保管（箱は54×34×10cm換算）
 - イ 図書類の保管
2,361冊（購入120冊、寄贈2,241冊）の新着があり、蔵書数は77,768冊となった。
- (2) 記録類の整理
- 図面のマイクロフィルム化 7遺跡（453枚）
- (3) 資料の活用・貸出・閲覧
- ア 出土品、写真等の貸出
貸出件数 58組織・団体・個人（出土品8,341点、写真157点）
 - イ 閲覧者数
資料室外部利用者（99人）、資料閲覧者（13組織）、入館者（14,961人）[資料4]

5 普及啓発事業

調査成果の公開・活用や埋蔵文化財保護思想の普及啓発を目的に、発掘調査現地説明会や、新潟県教育委員会との共催による企画展の実施、遺跡発掘地での県保有考古資料展示会、広報誌の刊行、体験学習受入れ等の事業を行った。また、財団が独自に国庫補助を受け、普及事業の充実に努めた。

- (1) 普及啓発

【企画展】

- ア 『縄文の造形美－六反田南遺跡－』
会 場：埋蔵文化財センターエントランス陳列コーナー

期 間：平成29年4月14日（金）～6月25日（日）

内 容：文化庁主催の企画展『発掘された日本列島2016』に出品された六反田南遺跡出土遺物の展示・解説。センター内展示終了後、巡回展を実施。

巡回展：十日町市博物館 平成29年7月8日（土）～8月27日（日）

フォッサマグナミュージアム 9月9日（土）～10月29日（日）

新潟県立歴史博物館 11月25日（土）～12月17日（日）

延べ観覧者：24,018人

イ 『東日本大震災復興支援発掘出土展』

期 間：平成29年7月14日（金）～9月3日（日）

内 容：宮城県出土品及びパネルの展示

観覧者：1,619人（うち講演会参加者87人）

ウ 『発掘された聖籠・新発田の遺跡』

期 間：平成29年9月15日（金）～平成30年3月25日（日）

内 容：聖籠町立図書館で開催した平成28年度展示会の内容を展示。

山三賀Ⅱ遺跡、青田遺跡、馬見坂遺跡、野中土手付遺跡、砂山中道下遺跡
小船戸遺跡、住吉遺跡の出土品を展示

観覧者：6,118人

エ 常設展示

出土品の通史展示に加え、「縄文人の暮らし」をテーマとした展示と、「出土品に触ってみよう」のコーナーを設け、本物の縄文土器片などを置き、質感をより実感できる工夫を行った。

【講演会】

会 場：新潟県埋蔵文化財センター（全10回）

参加者：延べ571人

第1回 『日本の石ヒスイ -その利用のあゆみ- 』

開催日：平成29年4月30日（日）

講 師：新潟県教育庁文化行政課 加藤 学

第2回 『火炎土器の時代 』

開催日：平成29年5月14日（日）

講 師：長岡市立博物館館長 小熊 博史

第3回 『佐渡金銀山遺跡の時代』

開催日：平成29年6月18日（日）

講 師：新潟県教育庁文化行政課 小田 由美子

第4回 『城の山古墳徹底解明 -発掘調査報告書から- 』

開催日：平成29年9月10日（日）

講 師：胎内市教育委員会 水澤 幸一

第5回 『下谷地遺跡の時代 』

開催日：平成29年10月15日（日）

講 師：新潟大学人文社会・教育科学系助教 斉藤 瑞穂

第6回 『青田遺跡の時代－縄文社会を探る－』

開催日：平成29年11月12日（日）

講師：（公財）新潟県埋蔵文化財調査事業団 荒川 隆史

第7回 『加地庄と佐々木氏・中条氏』

開催日：平成29年12月10日（日）

講師：新潟県立博物館 前嶋 聡

第8回 『上ノ平・吉ヶ沢遺跡の物語－氷河時代を生き抜く狩猟民－』

開催日：平成30年1月14日（日）

講師：（公財）新潟県埋蔵文化財調査事業団 沢田 敦

第9回 『山三賀Ⅱ遺跡の時代－律令期の阿賀北地域－』

開催日：平成30年2月18日（日）

講師：（公財）新潟県埋蔵文化財調査事業団 春日 真実

第10回 『縄文の墓から探る精神文化』

開催日：平成30年3月18日（日）

講師：（公財）新潟県埋蔵文化財調査事業団 加藤 元康

【親子考古学教室】

会場：埋蔵文化財センター

日時：8月14日（月）、8月20日（日） 午前・午後、2回

内容：センターの仕事紹介、展示品説明、火起こし、勾玉作り、土器作り等

参加者：37組86人

【少年少女考古学教室】

会場：埋蔵文化財センター（全4回）

内容：6月18日（日） 縄文土器の観察と土器作り体験

9月10日（日） 竪穴住居の観察と木の実採集

11月12日（日） 石器や金属器の観察と石器体験

1月14日（日） 縄文時代の編み物の観察と編み物体験

参加者：延べ51人

【第22回 遺跡発掘調査報告会】

会場：新潟県生涯学習推進センター ホール

日時：平成30年3月4日（日）

内容：平成28・29年度の調査結果報告、ミニシンポジウム『丸木舟の考古学』

参加者：132人

【発掘！新潟の遺跡2017展】

会場：新潟県立図書館エントランスホール

日時：平成30年2月27日（火）～3月11日（日）

内容：平成28・29年に発掘調査を行った石船戸東遺跡・土橋北遺跡（以上、阿賀野市）、六日町藤塚遺跡（南魚沼市）、丘江遺跡・宝田遺跡（以上、柏崎市）の出土品を展示

観覧者：14,763人

【発掘調査現地説明会】〔資料5〕

4遺跡で3回開催し、延べ187人が参加した。

【遺跡発掘地での展示会】

会場：ゑしんの里記念館（上越市）

期間：平成29年7月22日（土）～9月3日（日）

内容：上越市板倉区の五反田遺跡・仲田遺跡の出土品展示

参加者：1,480人

【校外学習・出前授業】

ア 学校教育の場として埋蔵文化財センターの施設・設備を提供し、火起こし、勾玉作り、石器使用などの体験、教材貸出し及び展示見学などの校外学習支援、指導者を派遣しての出前授業を実施した。

（校外学習36校2,430人、職場体験3校34人、出前授業12校473人）

イ 団体系来館者への展示内容解説 13団体317人

【まいぶん祭り】

会場：埋蔵文化財センター

日時：平成29年10月1日（日）

内容：火起こし、勾玉作り、バックヤードツアー、県立歴史博物館と連携し石斧体験を実施。

参加者：407人

【近隣施設等との協力事業】

ア にいつ花ふるフェスタ（第16回）

にいつ花ふるフェスタ実行委員会主催事業で、「花と遺跡のふるさと公園」「石油の里公園」エリア内の各施設が、それぞれ特色のある催しを実施している。埋蔵文化財センターでは、火起こし、勾玉作り、展示解説などを実施した。

日時：平成29年6月4日（日） 9：00～16：00

参加者：405人

イ フラワースタンプラリー（第8回）

公益財団法人新潟県都市緑化センターなどが主催する「フラワースタンプラリー」に参加し、来場者には抽選で景品（勾玉作りキット・10点）を進呈した。

期間：平成29年4月15日（土）～6月18日（日）

ウ 集客キャンペーン

埋蔵文化財センターの認知度向上を図るため、県立植物園など周辺7施設に案内板やチラシを配置依頼し、来館者には土器型ブローチを進呈した。

期間：4月14日（金）～6月2日（金）、10月6日（金）～11月26日（日）

(2) 広報誌・調査研究誌等の刊行

ア 『埋文にいがた』99～102号

刊行：年4回（6・9・12・3月） 2,200部（各号）

配布先：小・中・高校・大学、市町村教育委員会、図書館、博物館、他関係機関

イ 『年報』

刊 行：年1回 500部

配布先：都道府県・県内市町村教育委員会、図書館、博物館、他関係機関

ウ 『発掘調査報告書』

刊 行：随時 300部

配布先：都道府県・県内市町村教育委員会、図書館、博物館、埋蔵文化財関係機関

エ ホームページ・メールマガジン、ソーシャルメディアによる情報の提供

埋蔵文化財センターの催し物や事業内容、発掘現場の様子、「埋文にいがた」などの情報を掲示・配信した。

ホームページアクセス数：16,949件

投稿数：Facebook 56件、 Twitter 59件、 メールマガ 27件

6 会議等

(1) 評議員会

ア 定時評議員会

日 時 平成29年6月19日（月）午前10時から

会 場 埋蔵文化財センター 研修室

付議事項 平成28年度事業報告及び決算報告、役員の改選

イ 臨時評議員会

日 時 平成30年3月29日（木）

付議事項 役員の選任

※定款第22条（決議の省略）により、文書による同意

(2) 理事会

ア 臨時理事会

日 時 平成29年4月1日（土）

付議事項 専務理事の選定

※定款第39条（決議の省略）により、文書による同意

イ 第1回定例理事会

日 時 平成29年5月30日（火）午前10時から

会 場 埋蔵文化財センター 研修室

付議事項 平成28年度事業報告及び決算報告、定時評議員会の開催

ウ 第2回定例理事会

日 時 平成30年3月26日（月）午前10時から

会 場 新潟県自治会館 202会議室

付議事項 平成29年度事業計画の一部変更、平成29年度収支補正予算、平成30年度事業計画及び収支予算、嘱託員就業規程の一部改正、役員の推薦、臨時評議員会の招集

(3) その他の会議等

ア 全国埋蔵文化財法人連絡協議会（全埋協）

総 会

平成29年6月15・16日

神奈川県

役員会（1回）	平成29年5月11・12日	山口県
〃（2回）	平成29年11月30・12月1日	東京都
情報交換会	平成29年9月21日	東京都
中部・北陸ブロック連絡会	平成29年9月21・22日	長野県
イ 関東甲信越静ブロック担当者会議	平成29年12月1日	山梨県
ウ 北陸五県協議会	平成29年10月17・18日	石川県

7 埋蔵文化財調査技術の指導及び研修

日々進展している内外の各種情報を共通認識し情報の共有化を図るとともに、発掘調査業務に対して迅速に対応するため、職員研修への参加及び安全衛生研修等を実施した。また、要請に応じて市町村発掘調査技術指導等を行った。

(1) 市町村発掘調査技術指導等

8団体からの依頼で、埋蔵文化財の調査研究（専門研修会講師、調査指導・助言、委員会委員等）、普及（報告、講演等）に関連した事業に延べ12回の協力を行った。

(2) インターンシップ受け入れ

ドイツ・テュービンゲン大学アジア地域文化研究所日本学科の依頼により、下記のとおり留学生4名の受け入れを実施した。

内 容：土橋北遺跡（阿賀野市）での発掘調査体験、埋蔵文化財センターでの遺物整理復元作業体験、周辺の史跡や施設などの見学。

期 間：平成29年8月7日（月）～8月18日（金）

(3) 職員研修

ア 全国公益法人協会特別講習会	平成29年6月7日	宮城県
イ 文化庁埋蔵文化財担当職員講習会	平成29年8月30～9月1日	神奈川県
ウ 奈良文化財研究所専門研修	平成29年7月10～14日	奈良県
エ 関東甲信越静ブロック共同研修会	平成29年11月16・17日	長野県
オ 全埋協研修会	平成29年11月16・17日	愛知県
カ 埋蔵文化財専門職員実務研修①	平成29年12月8日	埋蔵文化財センター
〃 ②	平成30年1月12日	埋蔵文化財センター
〃 ③	平成30年2月15・16日	新潟県庁

(4) 安全衛生研修等

ア 救急法講習	全職員を対象とした救急法の講習
期 日	平成29年10月27日（金）
内 容	救急法、心肺蘇生法（人工呼吸、心臓マッサージ、AEDなど）
講 師	日本赤十字社新潟県支部 指導員
イ 防災訓練	災害時の行動、消防設備等の使用方法等についての講習・訓練
期 日	平成29年9月29日（金）
内 容	通報訓練、避難訓練、非常呼び出し訓練、消化器・消火栓放水訓練
講 師	新潟市秋葉消防署、新潟ニッタン(株)